

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成21年7月9日(2009.7.9)

【公開番号】特開2006-179106(P2006-179106A)

【公開日】平成18年7月6日(2006.7.6)

【年通号数】公開・登録公報2006-026

【出願番号】特願2004-370698(P2004-370698)

【国際特許分類】

**G 11 B 5/78 (2006.01)**

【F I】

**G 11 B 5/78**

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月27日(2009.5.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

非磁性支持体と、非磁性支持体の一方の面に、少なくとも1層の磁性層を有する磁気テープにおいて、前記磁気テープのエッジウェーブが $1 \mu m$ 以下であり、かつ前記磁気テープの最上層磁性層の長手方向の保磁力 $H c_{MD}$ と幅方向の保磁力 $H c_{TD}$ との差 [ $H c_{MD} - H c_{TD}$ ] が $140 kA/m$ 以上 $H c_{MD}$ 以下であることを特徴とする磁気テープ。

【請求項2】

前記磁気テープの長手方向の角形( $B_r / B_m$ )<sub>MD</sub>と幅方向の角形( $B_r / B_m$ )<sub>TD</sub>との比 [ $(B_r / B_m)_{MD} / (B_r / B_m)_{TD}$ ] が $3.0$ 以上であることを特徴とする請求項1に記載の磁気テープ。

【請求項3】

前記磁気テープの長手方向の保磁力 $H c_{MD}$ と幅方向の保磁力 $H c_{TD}$ との比 [ $H c_{MD} / H c_{TD}$ ] が $2.2$ 以上であることを特徴とする請求項1又は2に記載の磁気テープ。

【請求項4】

前記磁気テープの長手方向の保磁力 $H c_{MD}$ が $160 \sim 400 kA/m$ であることを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の磁気テープ。

【請求項5】

カートリッジケース及び前記カートリッジケースに組み込まれた請求項1～4のいずれかに記載の磁気記録媒体から成ることを特徴とする、磁気テープカートリッジ。